FIRE STAND ×CYLINDER

取扱説明書

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この製品は、屋外専用の焚火台です。

安全にご使用いただくため必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。
フィールドでご使用する前に安全な場所で組立、取扱い方法の確認をしてください。

焚火や焚火台は扱い方を誤ると、非常に危険な要素を持っています。
誤った使い方により、使用者や他の人への危害、
財産への損害を発生させる恐れがありますので、
取扱説明書を良く読み理解してからご使用ください。

本体の用途以外でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合に
ついては責任を負いかねますのでご了承ください。

使用上のご注意

- 本製品は屋外専用となっており、屋内やテントの中、車中など密閉された場所や狭い空間では絶対に使用しないでください。使用者が死亡または、重度の障害を負う可能性があります。
- テントのそばや、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。
- 風向き、風の強さ等をよく確認して、火の粉が燃えやすいものまで届かないことを確認してご使用ください。
- 乾いた草の上など延焼の恐れがある場所での使用は絶対にしないでください。
- できるだけ平坦で転倒の恐れのないところでご使用ください。また、がたつきがなく設置できていることを確認してからご使用ください。
- 強風の場合には転倒の危険性があるため絶対に使用しないでください。使用中に急に風が強くなった場合、直ちに消火し使用を中止してください。
- 焚火や火器などの使用が禁じられている場所での使用は絶対しないでください。
- 本製品は薪専用の焚火台になります。
- ご使用前には、本製品を点検し異常がないことを確認ください。異常が発見された際は使用を中止してください。
- 無理な取扱いは怪我や本体の破損につながる恐れがありますのでご注意ください。
- ケガ防止のため、組み立て、設置、ご使用中は必ず革手袋等をお使いください。
- 焚火台に使用しているステンレスメッシュは、消耗品となっております。メッシュにゆがみや、穴が開いた場合、ほつれた場合には使用を中止し、新しいものに交換して使用してください。
- 焚火台の薪に火をつける際に高温のバーナーなど使用される場合は、バーナーの炎が本製品に触れないようにご注意ください。
- 使用中本体は非常に高温になります。やけどには十分注意し、焚き火や、周囲の状況には十分気を付けてください。小さいお子様が焚火周辺で遊ぶことがないよう注意を払ってご使用ください。
- 焚火をしているときは、そばを離れないでください。
- 子供だけで焚火をすることのないようにご注意ください。
- 火をつけたままの移動、持ち運びは絶対にしないでください。
- 大きすぎる薪等は焚火台の転倒、薪の落下の危険性がありますので、メッシュからはみ出さない程度の大きさにしてご使用ください。
- 薪は最大5Kg以下でご使用ください。
- 本製品は常設用ではございません。長期間紫外線に当てたり、屋外に放置することは避けてください。
- 本製品を分解したり、改造しないでください。
- 片付けの際は本体が冷めていることを必ず確認してから行ってください。
- 消火の際、本体に水を掛けるなど急激な温度変化を与えないでください。本体の変形・破損などの原因となります。
- 使用環境により、本体が紫外線や煤、ヤニ等で変色する場合がございますが、ご使用には問題ありません。
- 本製品は本体がアルミ、メッシュはステンレスを使用しておりますが、ご使用条件によりサビが発生することがあります。
- 焚火台本体を洗浄する場合は、硬いたわしなどをご使用するとキズの原因となります。柔らかいスポンジに水を含ませて洗い、水分を拭き取り風通しのよい日陰でよく乾燥させてください。
- 保管の際は、よく乾かした状態で、直射日光の当たらない場所で保管してください。高温になる車内等で長期間保管することは避けてください。
- 専用ケースが汚れた際には中性洗剤等を含ませた布などで汚れを拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの薬品は使用しないでください。

SINANO WORK
株式会社シナノ
〒385-0022 長野県佐久市岩村田1104-1
TEL.0267-67-3324（お客様相談室）
sinano.co.jp/works/

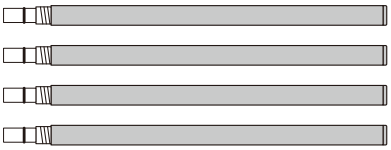
W_CLND2308-2

セット内容

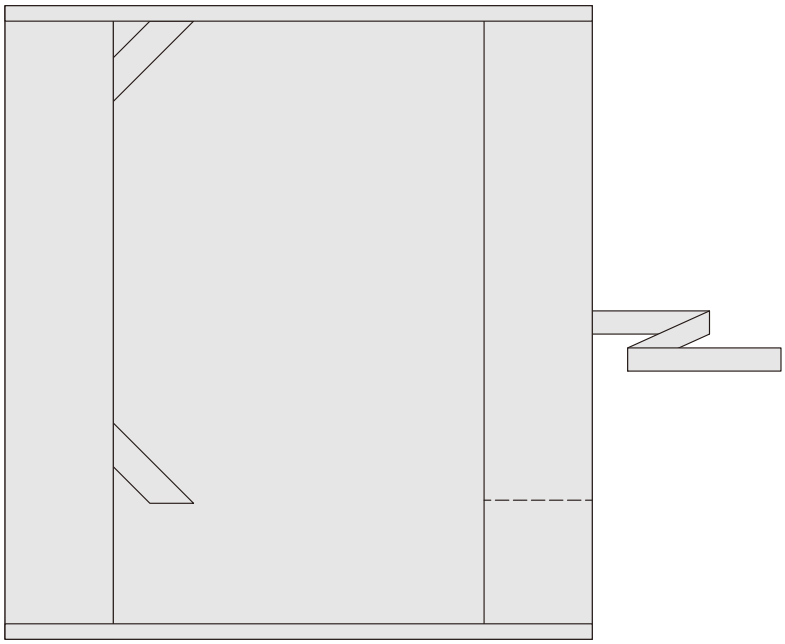
はじめに、収納ケースからパーツを全て取り出し、内容物が揃っていることをご確認ください。

●CYLINDER本体シャフト

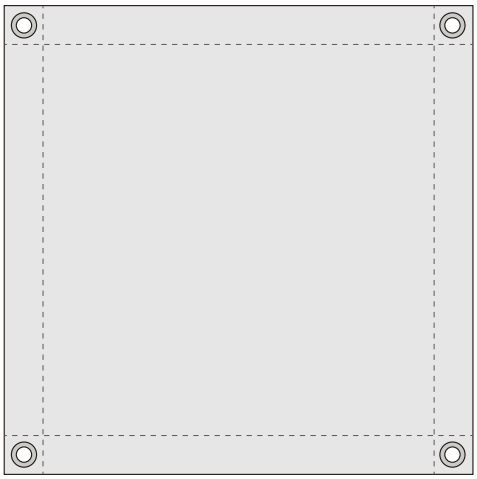
●マイクロフック（4個）



●脚パーツ（4セット）※本体シャフト内に収納



●専用収納ケース

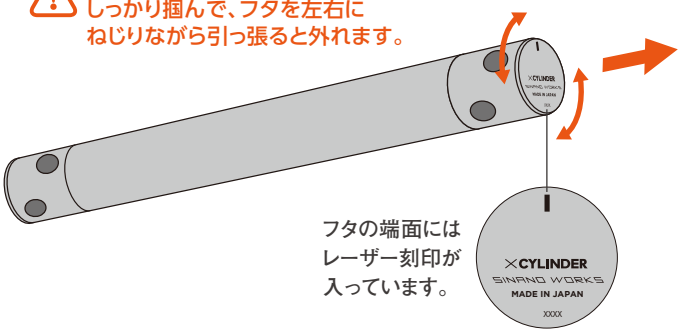


●ステンレスメッシュ

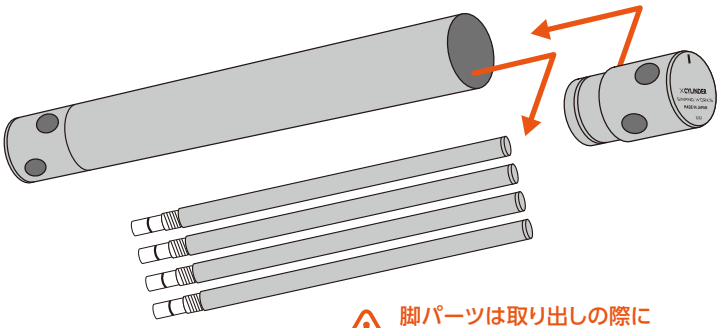
組立手順1/2

❶本体シャフトのフタを外します。

⚠ 本体シャフトとフタ部分を
しっかり掴んで、フタを左右に
ねじりながら引っ張ると外れます。

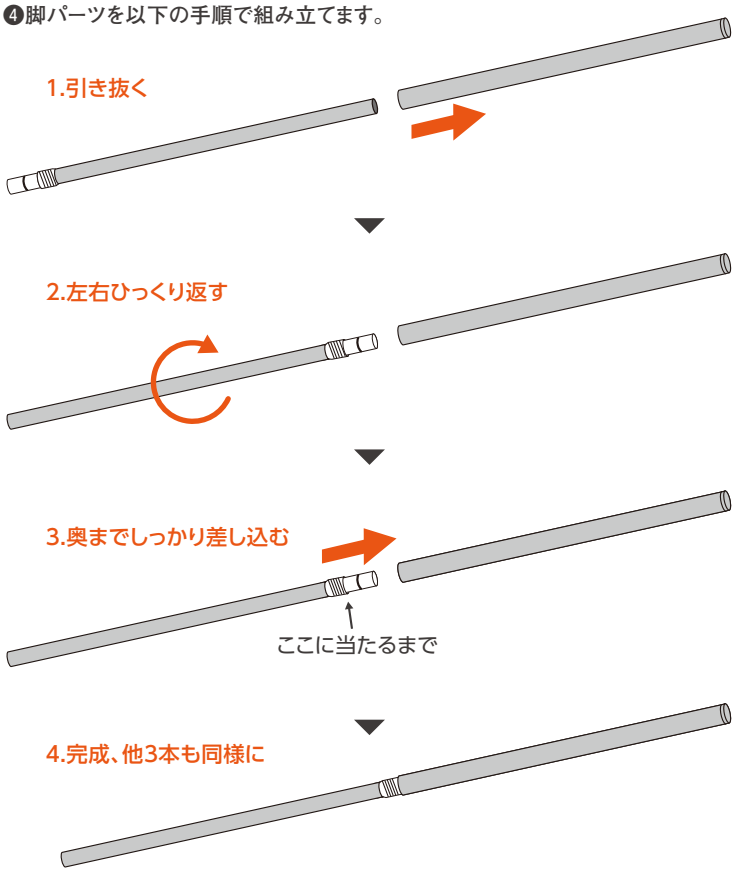


❷本体シャフトから脚パーツ（4セット）を取り出し、
フタを元に戻します。



⚠ 脚パーツは取り出しの際に
バラける場合があります。
本体内部にパーツが残って
いないか確認してください。

❹脚パーツを以下の手順で組み立てます。



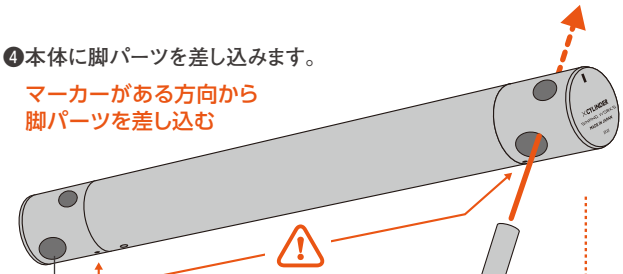
組立手順2/2

❸本体シャフトのフタ位置（向き）を揃えます。

下図の位置にあるくぼみ（マーカー）が
シャフトに対して一直線に並ぶようにフタを回して調節します。

❹本体に脚パーツを差し込みます。

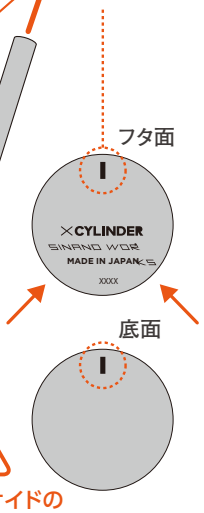
マーカーがある方向から
脚パーツを差し込む



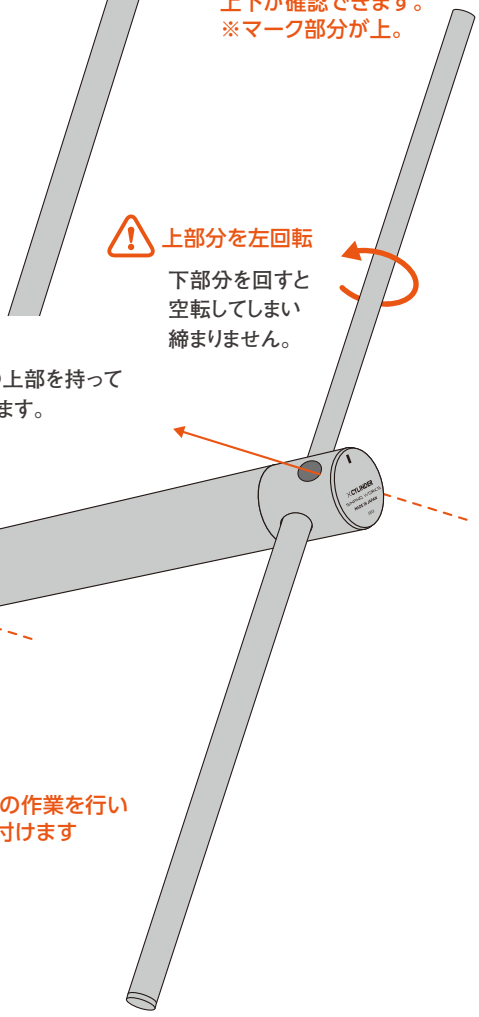
大きい方の穴に
差し込みます

マーカー部分が
下になります

逆の向きで
差し込むと
ネジ部分が
入りません。



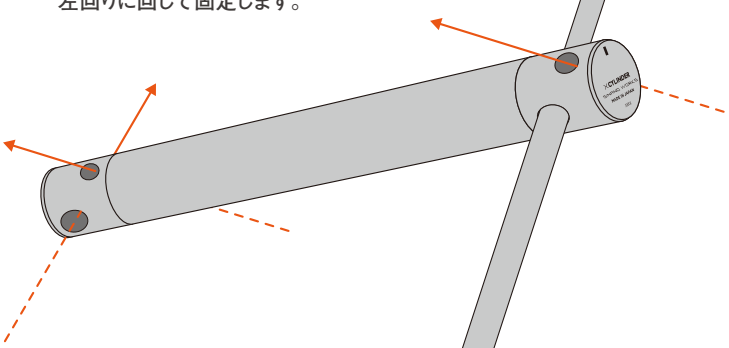
両サイドの
レーザーマークでも
上下が確認できます。
※マーク部分が上。



上部分を左回転

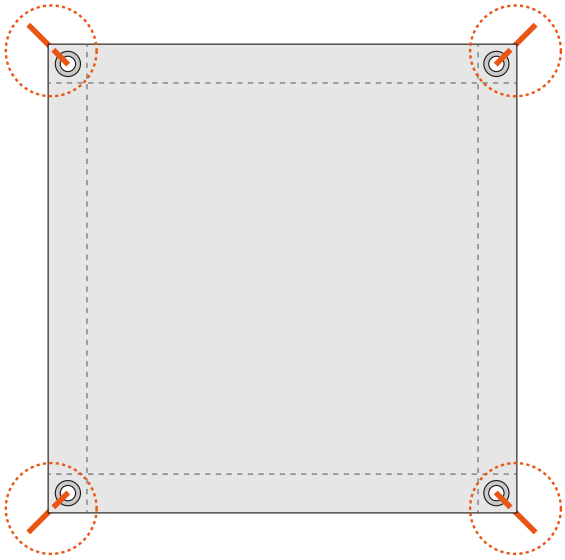
下部分を回すと
空転してしまい
締まりません。

❺差し込んだ脚パーツの上部を持って
左回りに回して固定します。

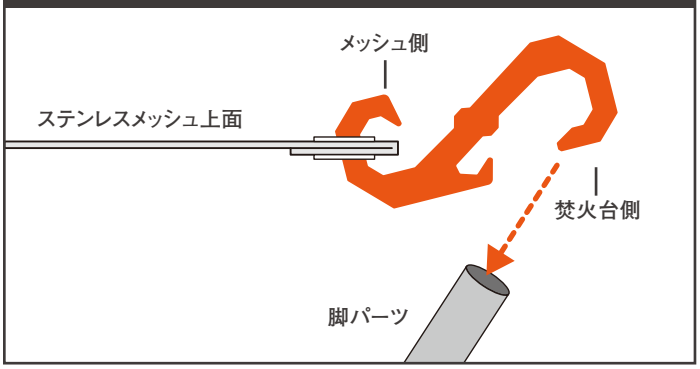


他3本も同様の作業を行い
4本とも取り付けます

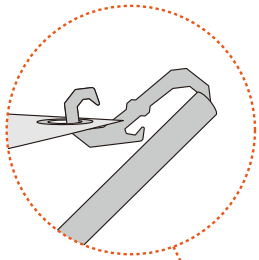
❻ステンレスメッシュのハトメ穴4箇所にフックを取り付けます。



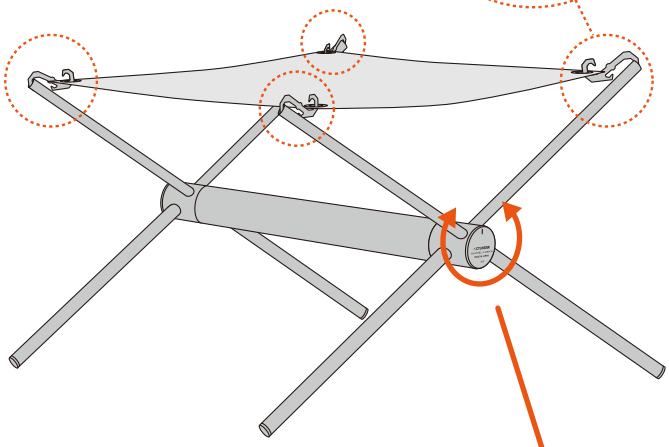
フックは非対称の形状をしています。
フックの取り付け向きにご注意ください。



❼ステンレスメッシュに取り付けた
フックの先端をそれぞれ脚パーツ先端に
引っ掛けるように4箇所差し込みます。



完成



収納は本体が冷めてから組立の逆順で行ってください。

設置した際に脚のガタつきがある場合は
本体シャフトのフタ部分を脚パーツごとひねって調整してください。